

～社専アーカイブス 番外編～

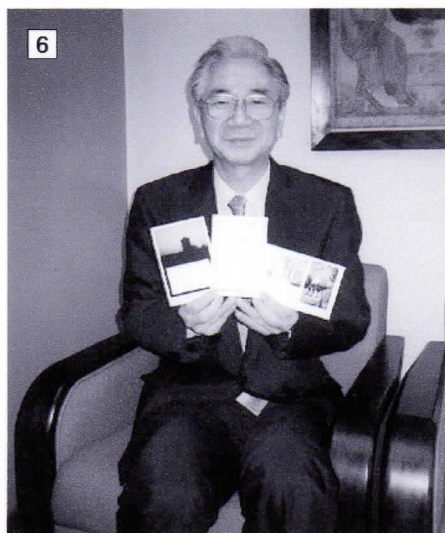
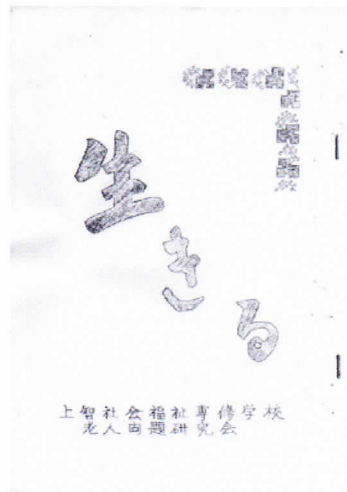
昔の資料で社専の歴史を振り返るシリーズ。本編は第59号で最終回でしたが、この度新しくご提供いただいた資料に、今まで掲載できなかった写真も合わせて、番外編を構成しました。

昔の資料は今後も募集を続けます。また、今回は寄せ集めになりましたが、「この時期の様子が知りたい」「〇〇関係の資料が見たい」など、アーカイブ資料掲載に関するご希望がありましたら、お知らせください。

〈資料説明〉

1 老人問題研究会（以下老問研）が1975年11月に作製した小冊子。記載内容によると、老問研は同年4月に発足したとのこと。なお、同名のサークルは1980年代頃まで活動していました。

1



- 2 手話サークルは、現在まで継続している、社専では活動歴の長いサークルです。写真は1994年社専祭での「手話コーラス」披露。
- 3 2001年11月、社専祭後夜祭での1コマ。ハビエル・ガラルダ先生のギター演奏は、後夜祭の定番でした。
- 4 1997年8月撮影、建替え工事終盤のイグナチオ教会聖堂。左後方は7号館、右側工事関係施設の後は、教会旧聖堂の一部が見えます
- 5 2002年入学生の介護演習風景（介護実習室で）
- 6 1997年 卒後25年の祝状（記念カード）を紹介する井上英治校長、本紙第21号の掲載写真です。祝状については3面もご参照ください。